

令和7年度全建賞 推 薦 調 書  
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 実施機関名(主事業の実施機関名)                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ひたちなか市                            |
| ふ り が な                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | さわえきしゅうへんちくせいびじぎょう                |
| 1. 事業(施策)の名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 佐和駅周辺地区整備事業                       |
| 2. 事業(施策)実施期間(和暦)                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 平成30年5月 ～ 令和7年6月                  |
| 3. 事業費(工事費)                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 約 5,590 百万円                       |
| 4. キーワード                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 駅周辺, 交通結節機能強化, 都市基盤整備, 自由通路, 駅前広場 |
| 5. 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                   |
| <p>本事業は、佐和駅東西自由通路・新駅舎整備をはじめとして、駅前広場や自転車駐車場の整備、土地区画整理事業による住環境整備等、佐和駅周辺の基盤整備を一体的に行ったもの。</p> <p>【事業箇所】佐和駅周辺地区</p> <p>【事業内容】</p> <p>佐和駅東西自由通路整備(L=約 80m, W=4m), 新駅舎整備(A=約 590 m<sup>2</sup>), 駅前広場整備(計 A=10,000 m<sup>2</sup>), 自転車駐車場整備(N=980 台), 東口アクセス道路整備(L=205m, W=5~6m), 歩行者空間バリアフリー化(視覚障がい者誘導ブロック L=2,790m)</p> |                                   |

| 6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」 |                                                             |                                              |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| ハード or ソフトの分類<br>:該当する方に○印   | ① ハード面 に秀でた事業                                               | ② ソフト面 に秀でた取組                                |
| アピールする<br>1)「手段」             | (b)土地区画整理事業との一体整備<br>( )<br>( )<br>( )                      | (a)大学との協働及び地域住民への情報提供や住民参画<br>( )<br>( )     |
| アピールする<br>2)「秀でた成果」          | (a)交通結節機能及び拠点形成機能の強化によるエリア価値の向上<br>(g)歩行者空間バリアフリーの実現<br>( ) | (e)地域のシンボルとなるデザインと高質空間化による拠点形成<br>( )<br>( ) |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7. 特にアピールしたい点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 周辺の都市基盤について、佐和駅東土地区画整理事業と連携しながら、一体的に整備・再編したことにより、交通結節機能や拠点形成機能の強化が図られた。本事業により、利便性や安全性のほか、まちの魅力が相乗的に向上し、区域内の居住人口の増加や地価の上昇等、エリア価値向上につながるまちづくりの効果が表れ始めている。</li> <li>● 駅の基本設計を進めるにあたり、茨城大学と連携しデザインコンセプトを策定した。駅等の完成予想図公表時には、地元自治会や地元高校生との意見交換行う等、地元住民への情報提供や参画の場を設けながら事業を進めた。</li> </ul> |

## 8. 事業を代表する写真及びキャプション

### 佐和駅周辺(西から望む)



整備前



整備後

## 9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

### 【事業内容】

- 佐和駅周辺地区は、JR常磐線による地域の分断や、西側にしか改札がないことによる駅前広場の混雑、歩行者・自転車利用者の危険な踏切横断等が課題となっていた。
- 交通結節機能の充実・強化を図るため、JR東日本水戸支社と共に佐和駅東西自由通路の整備と駅舎の橋上化を進めた。また、東西自由通路・新駅舎整備に合わせ、利便性と安全性の向上、駅周辺地区の拠点性等を相乗的に高める取組みとして、東口広場の整備(6,000 m<sup>2</sup>)や西口広場の改修(4,000 m<sup>2</sup>)、駐輪場整備(N=3 箇所、計 980 台)、駅周辺のバリアフリー化(視覚障がい者誘導ブロック L=2,790m 等)等を一体的に行った。
- 令和5年9月に佐和駅東西自由通路及び新駅舎が供用開始し、翌年度以降、東西駅前広場や自転車駐車場の都市基盤施設が順次、供用開始している。

### 【手段】①ハード面

#### (b)土地区画整理事業との一体整備

- 駅周辺の基盤整備と土地区画整理事業による住環境整備を一体的に進めることで、佐和駅周辺地区の課題解決を図った。
- 佐和駅東西自由通路及び新駅舎の整備にあたり、工事中の駅利用者の安全確保のため、仮駅舎を整備し工事を行った。また、佐和駅東西自由通路及び新駅舎の施工ヤードとして東口広場の予定地を最大限活用することで、工期の短縮を図った。
- 駅の供用開始後においても乗り換え跨線橋の撤去等の工事が続くため、引き続き東口広場用地を作業ヤードとし、隣接地に暫定ロータリーを整備することで、東口広場の機能性・安全性を確保した。また、関係工事間の調整を密に行い、駅供用開始後早期に完成形での広場の供用が図れるよう整備を進めた。西口広場は、供用しながらの工事であったことから、細かい段階施工による動線の確保と駅利用者の安全に努めた。



位置図



▲駅と駅前広場の施工中の様子と暫定ロータリー

## 9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

### 【成果】①ハード面

#### (a) 交通結節機能及び拠点形成機能の強化によるエリア価値の向上

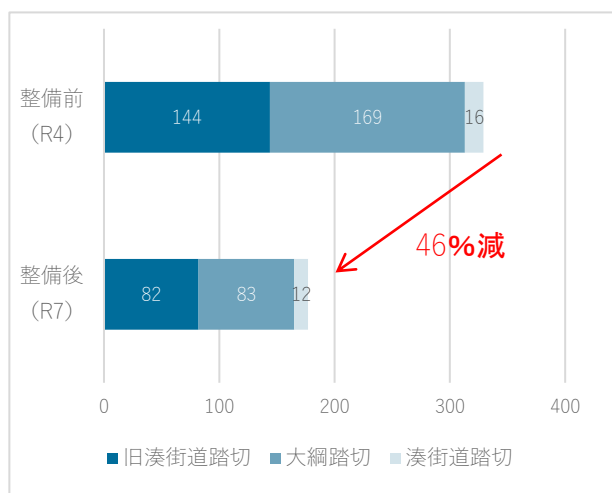
- 本事業により、佐野図書館から東口へのアクセス時間が9分短縮、佐和駅周辺の踏切の交通量が事業前から46%減少し、アクセス性、利便性が向上した。東西自由通路の整備により、地域の長年の懸案事項であった市街地の分断が解消され、交通結節機能や拠点形成機能の強化が図られた。
- 都市基盤整備と住環境整備等を一体的に実施したことで、利便性や安全性のほか、まちの魅力が相乗的に向上し、地区内居住人口が事業前から2.5%増加している。また、地価公示価格が令和元年から令和6年にかけて7.6%上昇する等、エリア価値向上につながるまちづくりの効果が表れ始めている。

#### (g) 歩行者空間バリアフリーの実現

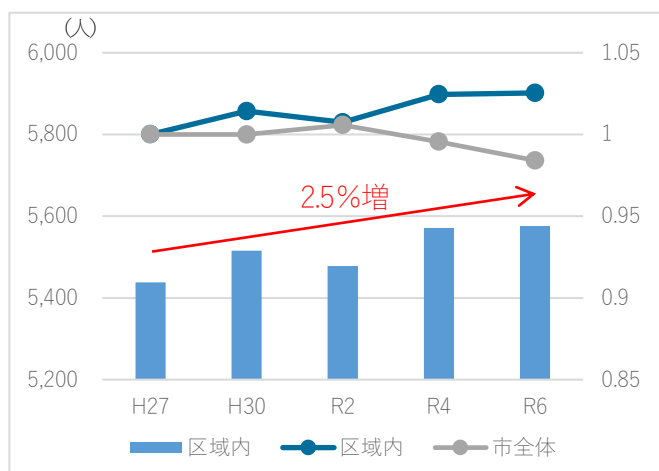
- ひたちなか市交通バリアフリー基本構想に基づき、駅から半径500m圏内の歩道のバリアフリー化を行い、当初8%だったバリアフリー化率が50%に上昇し、高齢者、子育て世代、障がい者が円滑に移動できる歩行空間の整備が促進された。



▲東西自由通路及び新駅舎と駅前広場



グラフ-1 歩行者・自転車の踏切交通量



グラフ-2 地区内居住人口の推移



▲西口広場交差点のバリアフリー化

### 【手段】②ソフト面

#### (a) 大学との協働及び地域住民への情報提供や住民参画

- 新たな拠点として賑わいの場となることを期待する声が高かったことから、駅の基本設計を進めるにあたり、茨城大学と連携しデザインコンセプトを策定した。このコンセプトに基づき検討した完成予想図により、地元自治会や佐和高校生との意見交換を通し、広く意見をくみ取りながら施設の意匠を決定した。また、駅前広場の設計あっても、駅のデザインコンセプトを踏襲するものとして、佐和高校生との意見交換を行いながら、意匠や機能を検討する等、駅と駅前広場が調和する都市空間の形成に努めた。

## 9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元（位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P I の方法 等）〕

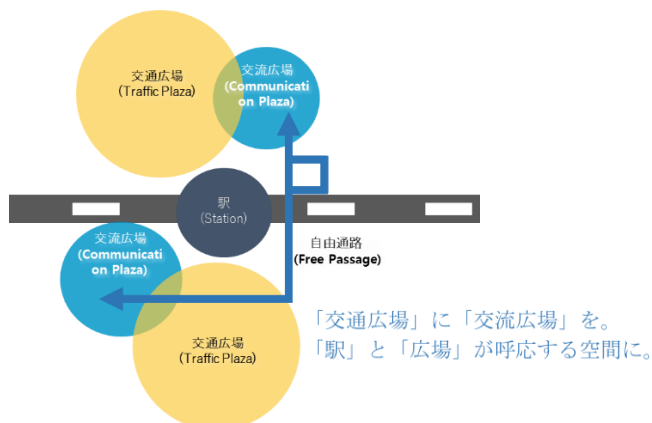
- 東西自由通路及び新駅舎の供用開始に先立ち、地元に向けた自由見学会を開催し、供用後に地域の賑わいの場となるよう、地元住民への情報提供や参画の場を設けながら事業を進めた。



▲デザインコンセプトについて茨城大学との連携(H30.5)



▲佐和駅東西自由通路供用開始前の自由見学会



▲駅前広場デザインコンセプト概念図



▲東口広場完成予想図

### 【成果】②ソフト面

#### (e)地域のシンボルとなるデザインと高質空間化による拠点形成

- 地域のシンボルに相応しい存在感のある外観と佐和の「和」に因んだ和みを感じる明るい雰囲気の内観のほか、地名の由来である「沢」の流れを施設のデザインに取り入れることで、昔から親しまれてきた佐和駅が地域の新しい拠点となった。
- 駅前広場に、雨よけシェルターや市民が憩い集うための交流広場を設け高質空間化を図ったことで、民間事業者によるイルミネーションイベントが開催され、地域の賑わい創出に寄与している。



▲佐和駅東西自由通路及び新駅舎 東側外観



▲佐和駅東口広場のイルミネーションの様子